

第6学年 道徳科学習指導案

日 時 令和4年11月30日(水) 3校時
児 童 6年1組 男9名 女9名 計18名
授 業 者 指導教諭 中釜 けい子

1 主題名 つながる命 (D 生命の尊さ)

2 教材名 その思いを受けついで(「新・みんなのどうとく 6」 学研)

3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

学習指導要領第5学年及び第6学年の内容の「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の「生命の尊さ」は、「生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること」である。これは、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。

低学年	中学年	高学年	中学校
生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。

生命の尊さは幾度となく強調されなければならないと考える。
そのためには、たった一つしかない大切な命だということや、生命が脈々と受け継がれてきたものであること、自分一人のものではなく多くの人々の支えによって守られ、育まれている尊いものとして大切にしようとすることに気付かせることが大事であると考え。




(2) 児童について

社会や総合の学習では、戦争で多くの犠牲を払ったことを知り、「死」についても理解している。学習を通しての振り返りからも、生命が大切なものであることは理解できている。

しかし、なぜ生命が大切なのかについて考えるまでには至っていない。
このことから、自分の生命は自分だけのものではなく、他の人の様々な思いがあることについて考え、生命が脈々と受け継がれてきたことに気付かせる指導が必要であると考えた。そして、自分の生命は受け継がれた尊いものであり、受け継がれた生命は、かけがえのないたった一つのものであるから大切にしていこうとする心情を育てていきたいと考える。

(3) 展開

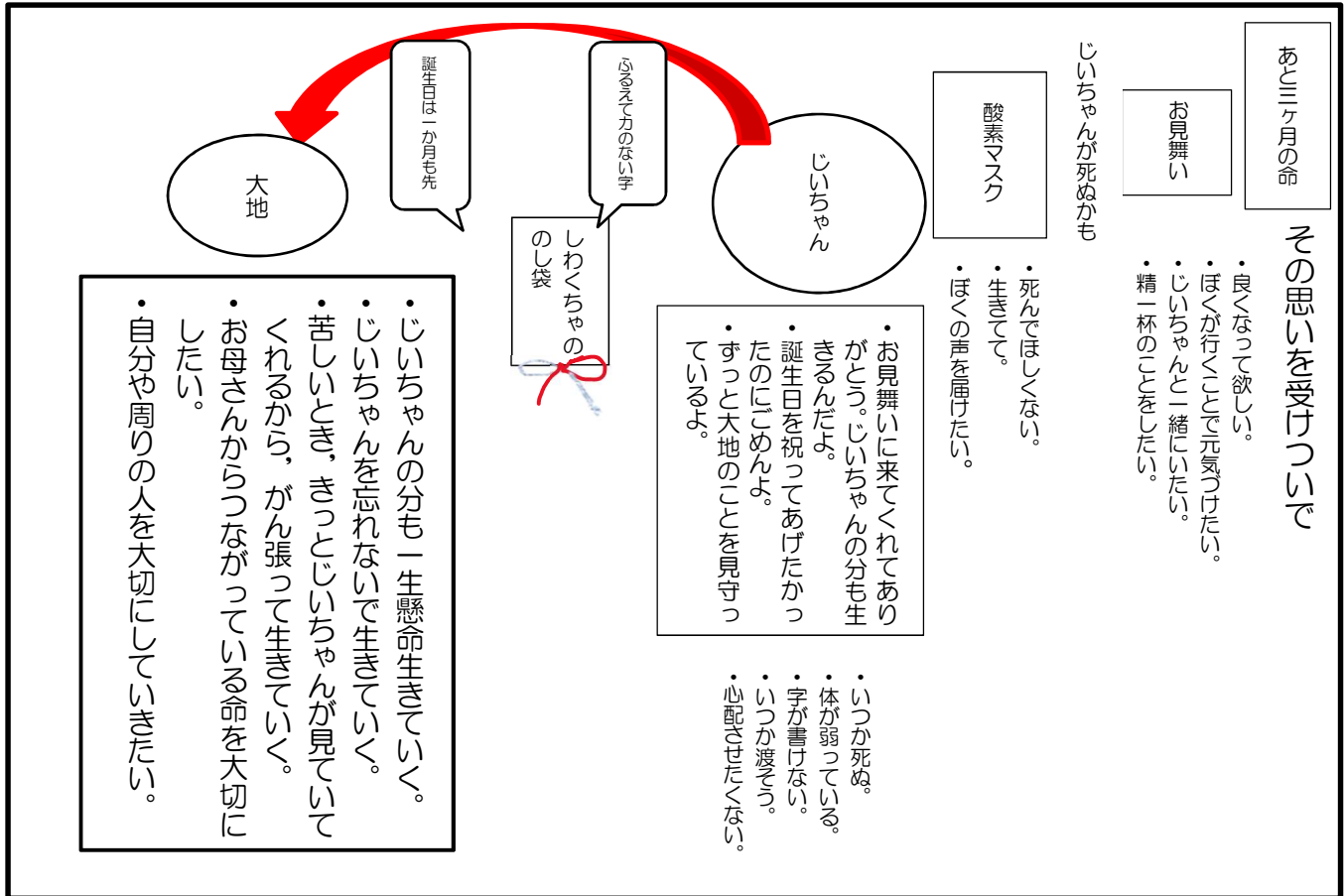
階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の意図・留意点
つ か む 5 分	<p>1 教材への関心を高める。</p> <p>○これは、「のし袋」と言います。もらったことがありますか。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・お年玉でお金をもらった。 ・結婚式のお祝いのときに見たことある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・のし袋は、お祝いなどの特別な時に使うものだということを押さえ、ぴんとはられたのし袋の実物を見せる。
ふ か め る 30 分	<p>2 教材を基に、話し合う。</p> <p>○大地は毎日どんな思いで、じいちゃんのところに通い続けたのでしょうか。</p> <p>○「瞬時に察した」のに、「きっとよくなるよ。」と大地が言ったのはどうしてでしょう。</p>  <p>○しわくちやの「のし袋」には、おじいちゃんのどんな思いが込められているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早く良くなって欲しい。 ・元気づけたい。 ・じいちゃんと一緒にいたい。 ・精一杯のことをしたい。 ・死んでほしくない。 ・生きていてほしい。 ・ぼくの声を聞くとよくなるかもしれない。 ・お見舞いに来てくれてありがとう。じいちゃんの分も生きるんだよ。 ・誕生日を祝ってあげたかったのにごめんよ。 ・ずっと大地のことを見守っているよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ができることを一生懸命にしたい、祖父と過ごす時間を大切にしたいと思う大地の心情を押さえる。 ・死が近づいていることを察しながらも、祖父を励ます大地の気持ちを考えることを通して、いかに大地が祖父のことが大好きかと思う気持ちに触れさせる。 ・のし袋がしわくちやなことや枕の下に入れていた意味を考えることを通して、死期を察していた祖父の大地に対する深い愛情に気付かせる。 

	<p>◎その強い思いを受けついで、大地はこれからどのように生きていくだろう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・じいちゃんの分も一生懸命生きていく。 ・じいちゃんを忘れないで生きていく。 ・苦しいとき、きっとおじいちゃんが見ていてくれるから、頑張っで生きていく。 ・お母さんからつながっている命を大切にしたい。 ・自分や周りの人を大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の題名にもどって、祖父の強い思いとは、どのように生きることなのか考え、生命の尊さを深めさせる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを道徳ノートにまとめ、グループで話し合いを行い、他者理解させたい。その後、深め合うために全体交流を行う。 </div>
<p>みつめる5分</p>	<p>3 道徳的価値の内面的自覚を深める。</p> <p>○おうちの人からの手紙を読んで振り返りを書く。</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ・命はつながっているんだと思った。生きていることを喜んでいる人がいるんだと思ったらうれしくなった。  	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に手紙を依頼する際に、本教材文と「生命の尊さ」を意図するものであることを説明し、理解を得ておく。 ・一人ひとりがじっくりと手紙を読む時間を設ける。(BGM) 
<p>ひろげる5分</p>	<p>4 今後の実践につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の振り返りを交流する。ノートに書いた振り返りを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の命も、みんなの命も、受け継がれてきた大切な命だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の振り返りを聞くことでより理解を深めるために交流させる。

(4) 評価の視点

- しわくちやののし袋と中に書かれた手紙から、祖父の温かく強い思いを受け取った「ぼく」の気持ちを考えることを通して、生命の尊さを多面的・多角的に考えていたか。(本時の視点1)
- 生命が、多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを、自分自身との関わりの中で考えていたか。(本時の視点2)

(5) 板書計画



当日の板書

